

PTA会員各位

小平市立小平第五中学校

PTA 会長

第3回運営委員会だより

日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

第3回運営委員会が Google Meet にて、開催されました。

開催日：令和4年12月6日(火)

1. PTA会長挨拶

PTA委員の皆様、先生方、本日はお忙しい中、運営委員会にご出席いただき、ありがとうございます。

さて、連日ブラボーなニュースが飛び交っておりますが、皆様寝不足ではないでしょうか。新型コロナウイルスの第8波が猛威を振っており、学校の方も日々ご対応に追われていることと思います。そのような中、2学期は合唱コンクールや校外学習等、子どもたちが楽しみにしている行事等を行っていただき、学校には感謝申し上げます。また、行事の際には、行事委員や広報委員の皆様、標準服リサイクル会では厚生委員の皆様、先日の本部役員の互選会では選考委員の皆様、五中ブロック会議等対外的な行事では校外委員の皆様、各学年の情報取りまとめには学級委員の皆様など、各委員会におかれましても滞りなく活動を進めてくださり、深く感謝申し上げます。

世の中的には今年度の決算及び来年度に向けた予算等を議論する時期です。五中PTAとしては年度当初から持続可能な形を模索してきました、いよいよ本日、臨時総会の開催を提案させていただきます。些細なことでも結構ですので、多角的に議論し、臨時総会に進めていければ幸いです。

それでは、本日も運営委員会、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 学校長挨拶

今年は、今まで中止や延期をしていた行事が実施できたことで、勉強以外の場面で子どもたちの活躍を見ることができ、教員もエネルギーをもらいました。学校にとって、子どもたちにとって行事は大事だと改めて実感しています。さらに若手教員にとっては、学校行事の経験があまりない教員もいます。「行事で子どもを育てる」というイメージが十分できておらず今年の行事を通じて学んだ教員も多くいました。行事を重ねていく中で、行事を通じて子どもたちと一緒に教員も成長している様子を職員室の中で見ることができました。五中をさらに良い学校にしていきたいと、気持ちを新たにしています。行事後の保護者アンケートを実施していますが、アンケートに寄せられている声も大変嬉しいお話ばかりで、行事の素晴らしさが保護者の皆様にもしっかりと伝わっていること実感しております。

また皆様の中にはこのところ様々な評判を耳にして、いろいろ心配なさっている方がいらっしゃると思います。実際には学校の中は大変落ち着いていますし、子どもたちは毎日楽しそうに、そして一生懸命学校生活を送っていますのでご安心ください。

さて、1年生と2年生はスキー教室、3年生は受験が控えています。コロナ禍ではありますが、大きなイベントが続きます。一つ一つを大事にして、子どもたちが成長できるように我々教員も頑張っていきたいと思います。

今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日も忌憚の無いご意見をお願いします。

3. 各主任挨拶

●教務主任

ここ最近、気温も下がってきて体調を崩す生徒も増えています。そのような中、朝早く登校し、校内の落ち葉掃きのボランティアに参加する生徒も多く、元気に活動しています。2学期は合唱コンクールも開催され、多くの保護者の方にも観覧していただくことができました。生徒にとっても保護者の方にとっても、思い出に残ったのではないのでしょうか。保護者の方に温かい目で見えていただいたことが印象に残っております。

3年生は、いよいよ進路選択に向けてラストスパートです。一人一人が自分の進路に向けて将来の事を考え、調べて行動しています。そのような中で、三者面談や面接練習を行いながら、学習にも励んでいます。2学期も残すところあと3週間です。PTAの方々もご多用だと思いますので、お体に気をつけてください。

●生活指導主任

2学期には、合唱コンクール、2年生は校外学習もありました。部活動等も3年生が抜けた後、新チームとなって新人大会など、新たな学年でスタートしています。コロナの感染が再び増えてきていますが、少しでもいろいろな行事を取り組めるようにしていきたいなと思っております。

家庭におきましては 防災マップで危ない箇所についてアンケートをとり、生徒会ボランティアを通して、安全マップができました。交通ルール等、気を付けて生活できたらと思います。

SNS に関するトラブルも見受けられます。社会には子どもたちを誘惑するものがたくさんありますが、子どもたちには、自分を律し、自分でいろいろなことを考えて行動するように伝えました。

冬休みを迎え、時間に余裕がある中、何をして生活していくかが、今後にとって大事になると思います。ぜひご家庭でも、話し合いながら生活していただけたらと思います。

引き続き、感染対策や体温測定等、よろしくお願いいたします。

●経営支援部主任

まず、学習者用端末の活用についてですが、令和5年度から本格的な家庭への持ち帰りを検討しております。ご家庭において、様々ご協力をお願いすることになるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、毎度のお願いになりますが、本校ホームページにて、お子様の日々の学校生活をお伝えしております。ぜひご覧いただければと思います。

次に、2年生についてです。1月のスキー教室へ向けて準備を進めております。学級委員及び生徒会役員で構成される実行委員が本当によく準備をしておりますので、「今年こそ」という思いで2学年教員一同、実施できることを願っています。スキー教室の詳細は、今週の保護者会でお伝えいたします。

まだ登校日が少しありますが、2学期も様々なご協力をありがとうございました。3学期も、引き続き保護者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

4. 地域教育コーディネーターご挨拶

皆様こんにちは。

日頃より教職員の先生方、保護者の皆様には、学校支援ボランティアにご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。引き続き、学校支援ボランティアの皆さまのご協力のもと、図書室ボランティア、校内整備ボランティアを行っています。ご覧になられた方もおられると思いますが、11月9日には学校花壇のお花の植え替えを行いました。ボランティアの皆様のおかげで、1年を通して、綺麗なお花で子どもたちや来校する方々を迎えることができます。来校の際にはぜひご覧ください。

放課後学習教室では新たな支援員も加わり、良い雰囲気の中、子どもたちの学習指導が行えています。今後も子どもたちのために、よりよい学習指導ができるように支援員と共に活動してまいります。

学校支援ボランティアは、地域と保護者の皆様のご協力で行っています。皆様のご協力がなければ成り立ちません。ボランティアは随時募集しておりますので、ご協力いただける方は、いつでもお気軽にコーディネーターまでご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。

5. 本部及び各委員の活動報告・活動予定

読み上げ省略 事前の配信にて周知。

→挙手にて承認

6. 検討事項 なし

7. 委員会・本部より報告・連絡事項

①来年度 PTA 本部役員候補の紹介 —————

②中 P 連について報告

前回の運営委員会や先日のスクールメールでご案内したように、小平市立中学校 PTA 連合会は現在組織の見直しが進められています。事務局として理事校や副理事校を輪番制で担当することや、理事校となる年度には本部役員を増員して選出することなどに負担を感じている学校が多いからです。

そもそも中 P 連は、市内公立中学校の連携を深めるものとして組織されており、会長と副会長が年3回理事会に参加し、さらに会長は年3回の会長交流会に出席しています。また、中 P 連主催行事を企画したり、中学生意見発表会を運営したり、各学校の活動内容を一覽にまとめた資料を作成したりする業務もあります。理事校になると、中 P 連会長は多くの対外的な会議への参加も必要となります。ご案内のとおり、会長同士の情報交換はとても有意義であるという認識は強く、この会長交流会のみを残し、理事会は任意の活動にすることで、輪番制を廃止するなど、負担を減らそうと検討を進めております。なかなか会員の皆様に伝わりにくいものですが、ここで何かご意見等あれば伺い、今後の会長交流会等に意見を持ち寄ろうと思っております。私からは以上です。ご意見

ご質問等いかがでしょうか。

➡中 P 連も、今にあった形にしていったら良いかと思います。どの学校も中 P 連に集まる以前に、自分の学校の方を見直しで良かったらいいと考えられているようです。今、五中が行っている改革がどの学校でも進むような形で、そのようなことを伝えられる会にしていただけたらいいなと思います。五中の改革についても、皆さんから意見をもらって、それを伝えられる場にしていき、中 P 連の方も変えていけたらいいなと思います。

③五中ブロック会議の報告

11 月 22 日に小平第十二小学校にて、今年度第二回の五中ブロック会議が開催されました。一小、十二小、上宿小、創価学園、そして五中の学校代表が集まり、学校行事や地域行事の進捗について報告し合いました。小平西高校さんと白梅学園さんは欠席でした。

どの学校も運営方法を工夫しながら少しずつコロナ前の行事を戻しつつあるようです。特に、先日十二小で開催された楽縁祭では、前後半に参加者を分けるなどの工夫がありました。また、会の最後には五中の吹奏楽部の演奏も披露されました。以前は体育館で行われていた演奏会ですが、今回は校庭での野外ライブ形式となりました。生徒たちはたくさんの聴衆の前で日頃の練習の成果を発揮できていました。しかも青空の下での演奏という、とても貴重な経験になったことと思います。

全てが全て、昔のように戻しているわけではありませんが、どの学校・地域も子どもたちのために安全性を確保して開催できるよう尽力されているとのことでした。報告は以上です。

④「PTA の在り方検討委員会」より進捗状況及び臨時総会開催について

【資料参照:令和 5 年度以降の PTA の在り方と それに伴う PTA 臨時総会開催の要望(12 月 8 日配信)】

<https://drive.google.com/file/d/1WuPlarKRh9PcxInmNBbhX9f9e7Gqe1tZ/view?usp=sharing>

<1ページ目>

令和5年度以降の PTA の在り方の提案とそれに伴う PTA 臨時総会開催の要望を説明させていただきます。昨日配信したファイルを見ながらお聞きください。画面共有しながら進めていきます。

<2ページ目>

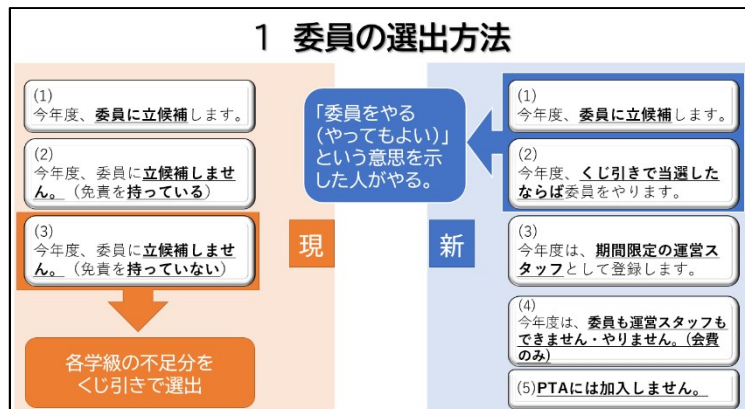
令和5年度以降の PTA の在り方について、本日この1～3についてご説明します。いくつか案を示しますので、本日の運営委員会での議論を通して形を一つに絞っていただき、それを臨時総会にて決議をとる、という流れを考えております。大きくは「委員の選出方法」「委員会の構成」「それらに伴う規約のみなし運用」についてです。

<3ページ目>

では、まず「委員の選出方法」についてです。

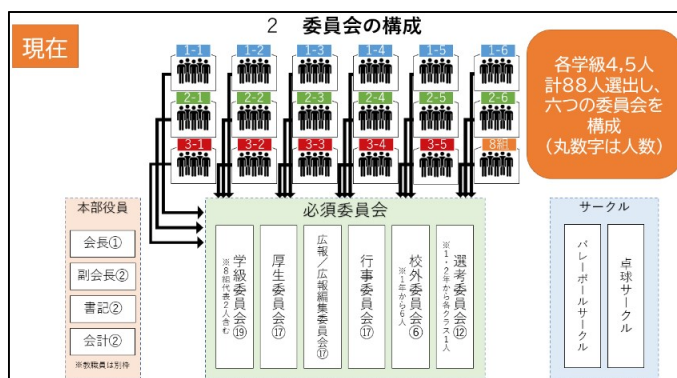
<4ページ目>

左側のオレンジ色が現在の選出方法で、右側の青い部分が新しい選出方法の案です。現在は立候補するかどうか、立候補しない場合は過去に本部役員や委員等を担ったことがあるかどうかの免責をもっているかどうかで区別し、免責を持っていない人たちでくじ引きを行うものでした。新しい案としては、「①今年度、立候補する」「②今年度、くじ引き OK」「③今年度、運営スタッフならできる」「④今年度は委員も運営スタッフもやらない」「⑤そもそも会員にならない」の5つの中から自由に選択してもらうようにする方法です。



<5ページ目>

この方法のメリットはいくつかあります。先日の会員アンケートの結果から、継続的な委員は難しいけど、できる限りお手伝いはしたいと考えていらっしゃる方が非常に多いことが分かりました。そこで、「③運営スタッフならできる」という選択肢を入れることで、よりPTA活動に参画しやすいようにしました。また、今まで委員を辞退するには、プライベートな理由を表明しなければならないという暗黙のルールもありましたが、③や④のような選択肢があることで、特に理由を表明することなく、ご家庭やご自身の都合を優先してPTA活動に参画していただけるようになります。さらに、先ほど申し上げた運営スタッフという制度を設けることで、今まで実働としても働いてくださっていた委員の人数を減らすこともできるだろうという見通しも立ちました。こうしたメリットがある一方、①や②を選ぶ、つまり、委員をやってもよいと表明してくれる人が一定数いてくれることが大前提となります。これが正直なところ最大の悩みどころではあります。しかし、ここ数年いろいろな工夫を凝らして活動を見直してきてくださったり、後ほどご説明しますが、委員会の構成の方法も見直すことで、委員の負担はさらに減ってきたりしていると思います。創意工夫によっていくらでも活動を楽しんでもできるし、よりグレードアップすることもできると思います。楽しんでやってもらえる土台はできつつあると思いますので、ぜひ今年委員をやってくださった方々も“おかわり”していただければ幸いです。



<6ページ目>

続いて、委員会の構成についてです。

<7ページ目>

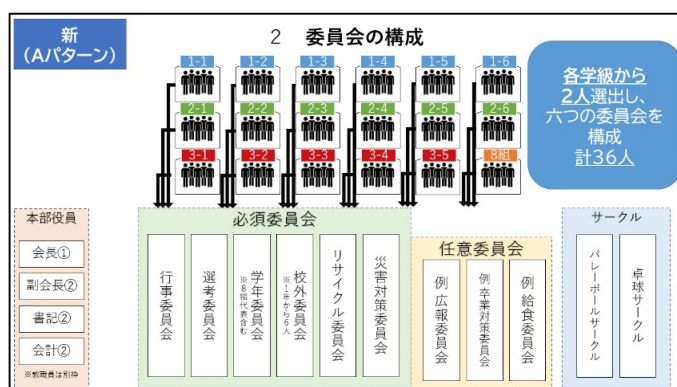
こちらは現在の委員会の構成の仕方です。各学級から4.5名選出し、88名の委員を集めて、学級、厚生、広報、行事、選考、校外の、6つの委員会を構成しています。

<8 ページ目>

そこで、先日の会員アンケートの結果を基に、現在の委員会の構成を見直しました。まず、大きく変わろうとしているのは、必須の委員会と任意の委員会と2種類に分けているところです。これは、会員アンケートでの必要論と不要論を分析して決めました。例えば、行事委員会は学校からの要望も強く、会員からも必要であるという認識が多くありました。また、災害対策委員会は新しい委員会ですが、今まで本部役員が担っていた災害備蓄品の管理について、これもやはり必要であるという声が多かったことに加え、避難所マニュアルの作成・運用なども必要になってくるといことから、新たに設立したいと考えています。一方、広報委員会はこれまで必須委員会としてありましたが、業務の大変さが会員アンケート等からも見られたことや、近年、顔写真等個人情報の扱い方も難しくなっていることもあり、必須委員会とせず、やりたいという方が集まった場合に発足する、任意委員会と位置づけたらどうかと考えています。このような考え方のもと、画面のような構成を考えました。そこで、ここからは2,3パターンで比較しながら聞いていただき、一つに絞っていきたいと考えています。

<9 ページ目>

まずAパターンです。こちらは、今までと似ているパターンで、各学級から2名ずつ選出して36名の委員候補を選出し、その36名を必須委員会及び任意委員会に割り当てていくという決め方です。どの学級からも2名ずつ選出ということで公平ではありますが、例えば、立候補やくじOKの人が全くない学級があった場合、難しくなってしまいます。



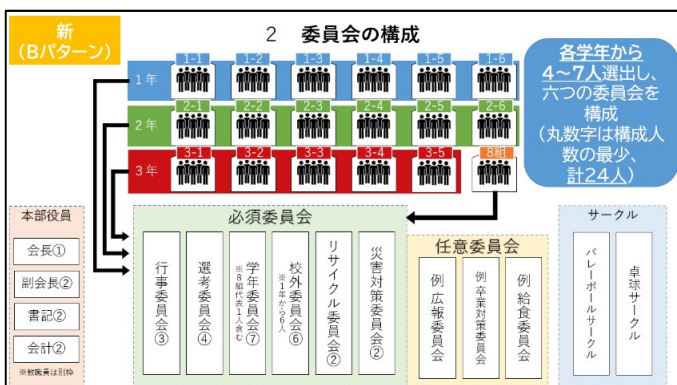
<10 ページ目>

次はBパターンです。こちらは、今までとは違い、学年で4名から7名を選出するパターンです。必須委員会の最低人数を検討し、最低でも24名いれば良いだろうという考えで、この人数としました。校外委員は現6年生から

選出されるので、それ以外の18名を3学年と8組の中から選出するようにします。最低人数は設定していますが、学年によって偏りが出てしまうかもしれません。ページは特に作っていませんが、従来どおりがCパターンです。

<11 ページ目>

こうした新しい委員会の構成にすることで、先ほどから申し上げているように、運営スタッフさんに当日の活動をしてもらうことで、委員は日程調整等、その取りまとめをするだけとし、選出しなければならない委員の人数を減らすことができるようになります。なお、運営委員会はこれまで各委員長さんやサークル長さんに出していたいていましたが、委員長さんに限定せず、各委員会から誰でもよくて2名出席というようにすればいいのではないかと、という案も出ています。いいことづくめですが、新しい運用方法なので、軌道に乗るまで細かい部分修正しながら進めていくことになろうかと思えます。



<12 ページ目>

そこで、規約のみなし運用を提案します。委員会の構成が変わりますので、もちろん規約の内容をいろいろ変えなくてはなりません。しかし、一度に完璧な変更は難しいと考えます。来年度1年間は新しい規約を打ち立てて、それをみなしで運用していき、来年度途中か最後にいよいよ施行という形をとっていただければいいかと考えております。規約の細かい部分については、正直検討がまだまだ不十分なので、こういう形でご了承いただきたいと考えております。

<13 ページ目>

最後に臨時総会開催の要望です。画面のように1月11日水曜日の16時30分から臨時総会を開催したく本日まで承認いただきたいと考えております。なぜこの日程なのかというと、1月末に令和5年度の予算委員会が予定されていることと、この日以降、1年生と2年生のスキー教室が立て続けに予定されており、学校として開催できる唯一の日程がこの日だからです。開催にあたっては、賛成反対を当日表明するか、事前のWebアンケートでも賛成反対又は委任ができるようにしたいと考えております。ちなみに、総会の開催条件は総会員の5分の1の出席です。Webアンケートの回答も出席として数えて開催したいと考えます。長くなりましたが、私からの説明は以上です。まずは、ご質問やご意見を伺わせてください。その後、2点、決議をいただきたいと思います。一つ目は、運営委員会の意見として、どの形を議案として臨時総会に提出するか。二つ目は、臨時総会の開催日及び開催方法についてです。よろしくお願いいたします。

質疑応答

○サークルが任意になった場合、どのタイミングで活動をやりますという声を挙げればよいのか。

➡既に活動しているサークルは、特に何か申し出ることなく、このまま活動してもらってよいです。サークルはそもそも任意で発足・活動となります。規約上、5名以上いれば新規に発足できるとされています。

○検討委員会内でも、それぞれの意見がありました。A案がよいという意見は、学年にしてしまうと枠が広すぎて、クラスで2名ずつ出した方が責任をもって各クラスに委員を割り振れるのでよいとか、学級の意見が反映されてよいといった意見です。また、B案の方がよいのではという意見は、必ず立候補者が出るとは限らない中、枠を広くしてはどうか、必要最小限の人数は参加してくれるのではないかと意見です。今後検討委員会でも参考になりたいので意見をいただきたいです。

○柔軟性を追求したB案が、すごく良いなと思ったのですが、実際に運用できるのかなと考えると各クラスから2名かな、と。しかし、本当にボランティアに手を挙げる方がいるのか、結局、現状に戻るのかな、と、ぐるぐるABC案が頭の中で回っていました。この場で1つの案に絞ってよいのかどうか分からず、この案を全体に示して検証していくことで、みんなが納得していけるのかなと。もしかしら、さらに良い案、修正案なども出てくる可能性もありますし、全会員に向けて意見交換するのはどうでしょうか。つまり、臨時総会前に案を皆さんに提示して選択肢を考えていただくと同時に、さらに意見を吸い上げる期間を設ける。検討の結果を基に、臨時総会で選択してもらうのがよいのではないのでしょうか。校長先生がおっしゃった「やらなくていいのであればその方がいいかも」と思いがちでもある。ただ、くじで強制的にやらなければならない状況になったら、責任感をもってしっかりやろうと感じるが、易きに流れるのは多くの人の心に存在していると思います。そういう事も考えると、議論の推移を見

ていて、まとまりにくい結果も見えてくるのではないかと思います。

○A 案か B 案だけでなく、検討中の今、このような形にしていますと、全会員に提示・案内して、意見をいただくのがよいかと考えます。委員会の形も変わるという提案ですので、意見を聞いてまとめたものを、総会に出せたらよいのではないのでしょうか。

○クラスによってやりたい方のばらつきが出るのではないかと考えB案が良いのではないかと考えました。もう一つは、「運営スタッフとして手伝ってもよい」という選択肢を選ぶときにクラスのバランスをとれるのではないかなと思いました。また、実際の進め方が見えてこない。ある程度アンケートをとってから誰がどれくらい動けるとかが分かった上で各クラスから何人とか、メンバーを決めていくのか、そこで名乗りを上げた方に集まってもらうのか、個別にオファーするのかなど、図だけでは理解が難しく、お話をきいて理解できました。このままでの確に選べるか疑問に思います。

➡例えば、4 月にアンケートをとります。仮に 30 人ぐらい立候補の方がいらっしゃったら、一度集まってもらいどの委員会に所属するかを決めてもらう。あるいは希望をはじめから示してもらってもよい。何年何組に、何人立候補の方やくじによる選出が OK の方があらかじめ把握できていると考えます。A プランになれば各クラス 2 人以上なので、その時点でくじが必要か必要ではないか、となる。足りなかった場合のやり方は、結局くじ引きにするしかないのかなと、ただ、立候補やくじ OK と言ってくれる人が一定数いてくれると信じたいし、保護者会等で PRしていきます。

○本日の運営委員会の中でこの3案があって、全会員に臨時総会前に一度お示しする。その中で皆さんのご意見を取りまとめ、それを臨時総会で示して、そこで決定させていただきたいという事を決めていければよいのではないかと。

➡整理すると、皆さんにお示した内容を、さらに分かりやすくして全会員に一度お示しし、考える時間をもってもらいつつご意見をいただく。そして意見募集の機会を設けて、修正など加えて臨時総会に進めていくという流れでよろしいでしょうか。

→挙手にて承認

【臨時総会開催日・方法について】

令和 5 年 1 月 11 日(水) 16:30 から ①対面による表決、又は②事前 Web アンケートによる表決 の予定。

→挙手にて承認

⑤来年度予算案提出及び予算委員会開催について

活動実績報告・来年度の予算案のご提出、お忙しい中ありがとうございました。3 月には収支報告書の提出になっております。必要なものがありましたら購入していただき、年度内に必ず本部会計までご連絡ください。収支報告書の提出期限は改めてお伝えします。また来年度の予算委員会は 1 月 24 日に開催しますので、各委員会の委員長は参加をお願いいたします。

8. 副校長挨拶

活発な意見交換ありがとうございました。2学期、様々な行事、PTA 活動等々、様々な場面で皆様にお世話になり、重ねて御礼申し上げます。今、3年生は面接練習をやっています。「中学校時代、何が一番思い出に残っていますか」と聞くのですが、多くの子が合唱コンクールと答えてくれます。合唱コンクールの練習を通して、いろいろな経験をしながらルネこだいらの舞台上で歌えた、という経験は大きかったという子が多いです。そういう意味でも、合唱コンクールを開催できたのは良かったなと思います。いろいろな方に支えられて会場にも観に来ていただくことができて本当に良かったです。ありがとうございました。

PTA の在り方について、これまで何回か夕方 6 時～9 時ぐらいまで検討を重ねてきています。会長が非常にわかりやすくまとめてくれていますが、あそこにたどり着くまで紆余曲折がありました。いろいろなことを考えてやってきていますが、未知数な部分が多く、今日も意見が聞けてよかったです。例えば、アンケートを最初にとった時に「立候補します」「くじで当選したらやります」の方が実際にはどれだけいるのかは分からないわけです。例えば、いなかったらどうするのか、そういう部分をこれからシミュレーションしていかなければいけないと思っております。皆さんの率直なご意見をいただけたらありがたいです。

なお、臨時総会は 1 月 11 日ですが、スキー教室の直前になりますので、「集まれるのか」、「集まっての実施で大丈夫なのか」という判断は学校側でさせていただきたいなと思っています。今日は長い時間、本当にありがとうございました。

9. ご連絡

- ・第 4 回運営委員会は令和 5 年 3 月 7 日(火)です。

以上